

無散水消雪施設の整備により、冬道も安全に！



国道118号は、緊急輸送二次確保路線であり、年間を通して安全を確保する必要がありました。

当区間は山間部で積雪が多く、急な坂道も連続することから、冬期間になると、路面凍結によるスリップ事故の多発や、車が滑って登れないなど、円滑な交通に支障をきたしていました。

このため、道路の積雪や凍結を防止する無散水消雪施設を設置し、雪に強い道路にしました。



整備後



整備前

スリップ事故が多発！

雪に強く安全な道路に！

防雪事業

延長：

L=1,750m

事業期間：

平成14～19年度

総事業費：

約13億円